大田原市
なす風土記だより
第6号
発行 大田原市なす風土記の丘湯津上資料館／大田原市歴史民俗資料館
令和7年3月31日

館長あいさつ

本年度も、『なす風土記だより』を発行する時期になりました。本年度は、市内外の学校の利用も増え、資料館にも賑わいが戻ってきました。事業としては、市内の資料館が一体となって取り組んだ市政施行70周年記念事業の展示会である「おおたわらの歴史」の実施や、生涯学習課と協力した「こどもフェスティバル」の体験イベントの参加等、市内で連携した新しいイベントにも参加しました。また、上侍塚北古墳の発掘調査が行われるなど、資料館周辺に注目が集まってきています。これらの１年間の概要を紹介させていただきます。　（大森忠夫）

ついに始まる！上侍塚北古墳の発掘調査



大田原市には、古墳時代前期につくられた前方後方墳が３基あります。国指定史跡である上侍塚古墳、下侍塚古墳と、上侍塚北古墳です。上侍塚北古墳は、上侍塚古墳の北約65mの、那珂川右岸の段丘東縁に沿って築造されました。川原石を墳丘斜面に積む葺石は現在確認されていません。また、周囲からは、赤色顔料が付着した土師器壺（有段口辺壺）が採集されています。前方部の裾部分は、それほど開いておらず、後方部と前方部との比高差も大きくなっていることから、上侍塚古墳よりもやや古い前方後方墳ではないかと推定されてきました。９月からは、市による学術調査を始めました。古墳の当時の姿が明らかになりつつあり、とても遺存状態のよい土器が多数出土しています。発掘現場では、これらの土器の出土した状況、標高などを計測して記録した後、丁寧に洗浄、ナンバリングをして、接合する作業を行っています。これから、また新たな事実が明らかになっていくことが期待されます。　（鈴木志野）

今年はこんなことがありました

なす風土記の丘資料館では…

市の大きな事業として、上侍塚北古墳の発掘調査を行いました。上下侍塚古墳に先行する古墳ではないかと推察されていた古墳です。県による上下侍塚古墳も調査が開始されてから５年が経ち、今年度は県と合同での現地説明会なども実施しました。また、夏休み期間には市内資料館連携事業としてスタンプラリーを実施したほか、生涯学習課の事業であるこどもフェスティバルに協力し、オリジナル古墳缶バッジ作りなどを実施しました。このほかにも新しい試みとして冬の体験イベントで古墳キーホルダー作りを実施するなど、資料館や前方後方墳などについて興味・関心を呼び起こせるよう新しい事業にも取り組みました。まずは、たくさんの方に資料館を、そして大田原の歴史を知ってもらうことが大きな狙いです。　（鈴木志野）

歴史民俗資料館では…

昨年に引き続き、収蔵資料整理のため展示室を休止している歴史民俗資料館ですが、今年度は市制施行70周年を記念した展示会や、それに伴うイベントにも加わり、皆様に資料館を知っていただく機会を得ました。そして、コロナ禍以降、長らくお休みしていた地域回想法を実施することも出来ました。また、昨年同様、地域の方から資料の寄贈依頼や情報をいただき、調査に行く機会にも恵まれました。

こういった色々な方との出会いと、教えていただいた情報や知識を、今後の資料館の活動にどう活かしていくか。どうしたら、この成果を地域に還元できるのか。簡単に答えは出ませんが、この課題と真摯に向き合い、地域の皆様へ恩返しが出来るよう、検討を重ねていきたいと思います。　（宮澤友美）

大田原市なす風土記の丘湯津上資料館

国指定史跡・侍塚古墳、国宝・那須国造碑を中心に、日本で初めての発掘調査と、大田原市内で発見された資料を展示している考古資料館です。

〒324-0403 栃木県大田原市湯津上192
TEL 0287(98)3322　FAX 0287(98)3323
E-mail fudokiyuzukami@city.ohtawara.tochigi.jp
U R L http://www.city.ohtawara.tochigi.jp/docs/2013082772084/

大田原市歴史民俗資料館

昭和30年代、湯津上地区で実際に使用されていた農具や民具を中心とした、大田原市内の民俗芸能を扱う民俗資料館です。

〒324-0403 栃木県大田原市湯津上194
TEL 0287(98)2151
U R L http://www.city.ohtawara.tochigi.jp/docs/2013082772237/